



## 南阿蘇村地域おこし協力隊 新規就農プロジェクトに、 新メンバーが加わりました♪



農政課所属の地域おこし協力隊メンバー。

名前：吉田 洋樹（ひろき）  
着任：2022年8月1日（任期2年）  
出身：熊本県人吉市  
宮崎県の有機農家で1年ほど研修後、  
南阿蘇村へ。

### Q. 農家を目指したきっかけは？

A. 市販の加工品の品質表示に並ぶたくさんの添加物の名前を見て、「なんでこんなにいろいろ入ってるんだろう？」と疑問に思って。調べていくうちに、安心・安全な食べ物を作る立場になりたいと思うようになりました。

### Q. 協力隊になった理由

A. 地域や人のことを知って、そして自分のことも知ってもらいながら農家になりたくて。

### Q. 目指すもの

A. 理論より現場実践派なので（笑）、誰よりも動いていきたいですね。目指すのは、土づくりに力を入れた有機農家。サツマイモ、大豆、米を中心に考えています。

## 南阿蘇村農業みらい公社通信 Vol.3

公社で管理している旧両併小学校は、農業体験などを含めた交流活動の拠点として整備することと  
しています。

まだ施設整備は進んでいませんが、8月19日から20日にかけて慶應義塾大学主催のオープンキャンパス「未来構想キャンプ2022 in南阿蘇村」が開催され、慶應大学の先生4人、大学生8人と全国から集まった高校生20人が参加しました。

オープンキャンパスでは両併地区を散策し、区長や農家から話を聞いた後、未来について考えるワークショップがおこなわれました。参加した学生や高校生からは、「廃校と聞いていたのでもっと古いイメージを持っていただけ、木造できれいだった」「学校に泊まるのが憧れだったので実現できた」などの肯定的な意見が多くありました。

主催者の先生たちからも「地元の人たちに何度も足を運んでいただけたのは学校という場所だったからだと思う。今後もこのご縁を大切にしていきたい」という感想をいただきました。

旧両併小学校では今後もさまざまな形での交流活動を進めて南阿蘇村のファンを増やしていきたいと考えています。地元の皆さんにはお手数をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。



両併地区の説明をする下田剣太郎さん（両併一）

高齢化などに伴って耕作が困難になった農地の斡旋については、  
まずは役場農業委員会 TEL0967 (67) 2707 にご相談ください。